

# 青年部四季報

2002年  
7月  
創刊号

発行者 (社)福島県建築設計協会 県北支部 青年部 情報委員会  
 所在地 〒960-8043 福島市中町4-20 みんなゆうビル  
 電話 (024)521-4033 FAX(024)521-5087  
**特集** 平成14年度青年部事業として、6月15日に研修会が実施されましたので、見学対象の建築物を特集で取り上げます。

## 特集

# 研修会レポート

### 第1回青年部研修会

平成14年6月15日(土)に青年部研修委員会活動の一環として、若手建築家の方々の作品をピックアップし、施設を見学する研修会が実施されました。「互いに意見を交換しながら施設を見学し、今後の設計業務等に生かす」という目的を持った施設の見学では、各施設利用者にもご協力いただき、活発な意見が飛び交う充実した研修会でした。その中でも多く聞かれた声は、高度の発想力を要し競われるプロポーザル方式の設計と、施設の末端利用者が利用しやすいと思う設計との間にはかなりギャップがあるということでした。これから地方の入札契約制度も大きく変化していくことが予想されますので、青年部会員にもさらなる自己研鑽が要求されると思われます。



那須野が原  
ハニースポール  
設計: 早草睦恵  
セルスペース  
栃木県大田原市本町



馬頭町広重美術館  
設計: 隈研吾建築都市  
設計事務所  
栃木県那須郡馬頭町



栃木県なかがや水遊園 おもしろ魚館  
設計: 古市徹雄都市建築設計事務所 JV  
佐藤総合計画  
栃木県那須郡湯津上村佐良土  
福島県建築設計協会 県北支部 青年部会員  
参加人数 22名

## 連載 会員紹介(三役)

会社名 / 生年月日・血液型 / 建築を志した動機 / ちょっと一言



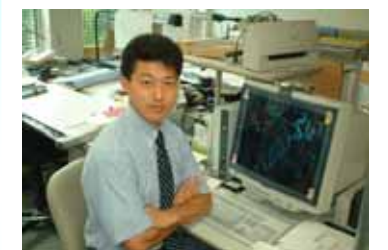
部会長 鈴木 宏幸

(株)杜 設計 S40年9月22日 O型  
 自分の仕事か形として地域に残ることに興味をえた。皆様と共に建築文化の発展とまちづくりの進展のため行動をしていきたい。



副部会長 田畑 建一

(株)田畑建築設計事務所 S44年4月17日 A型  
 自宅の事務所兼用であったためやるべきものだと無意識に感じた。様々な規制のなかでいかに主張し形を表現するかを考える。



副部会長 鈴木 勇人

(有)鈴木設計 S47年5月18日 A型  
 様々な人々との連携により形になるよるこひがある。建築とは魂がめられるものである。我々の行動がより大きな魅力となる。

## トピックニュース (部外情報)

### まちなかフォーラム実行委員会の「都市再生推進事業企画」

#### 1. 歴史を活かしたまちづくりミニ講演(仮称)

目的: 福島市の中心市街地の江戸時代からの歴史を再認識し、板倉家福島藩主300年記念の年であることから、歴史を活用したまちづくりを推進するため、ミニ講演を開催する。

開催時期: 平成14年9月下旬(2回~3回)50人程度/回

予定場所: 旧日本銀行福島支店長役宅

#### 2. 都心再生まちづくりイベント(仮称)

目的: 市民が魅力を感じる街の活性化の実践のため、街なかでイベントを開催するものであります。又、板倉家福島藩主300年記念の年であることから、福島市の歴史資源をミニ講演を通じ再認識し、歴史を活用した内容も盛り込む。

開催時期: 平成14年10月下旬~11月初旬

予定場所: 街なか広場

県道福島停車場線(駅前交差点~国道13号交差点)歩行者天国

## 今年度各委員会活動計画

総務会員委員会(委員長: 原田 信弘)  
 例会のスムーズな運営・各委員会のバックアップ・事業への積極的参加を計画しています。

政策会員委員会(委員長: 大内 一弘)  
 福島の町並みを調査研究し、他団体との交流を図り将来の街づくりを計画しています。

研修会員委員会(委員長: 家名田 秀昭)  
 建築見学会の実施・研修会の開催・社会貢献となるボランティア事業を計画しています。

情報会員委員会(委員長: 蛭川 礼二)  
 建築関連情報の収集と発信・年4回の青年部会報の発行を計画しています。